

新しいシゴト, 新しいジブン

DOMO!
DOMO!time
DOMO!job
JOB

2019年2月期 通期決算説明会

株式会社アルバイトタイムス

2019年4月15日

新しいシゴト, 新しいジブン

DOMO!
DOMO!_{time}
DOMO!_{job}
JOB

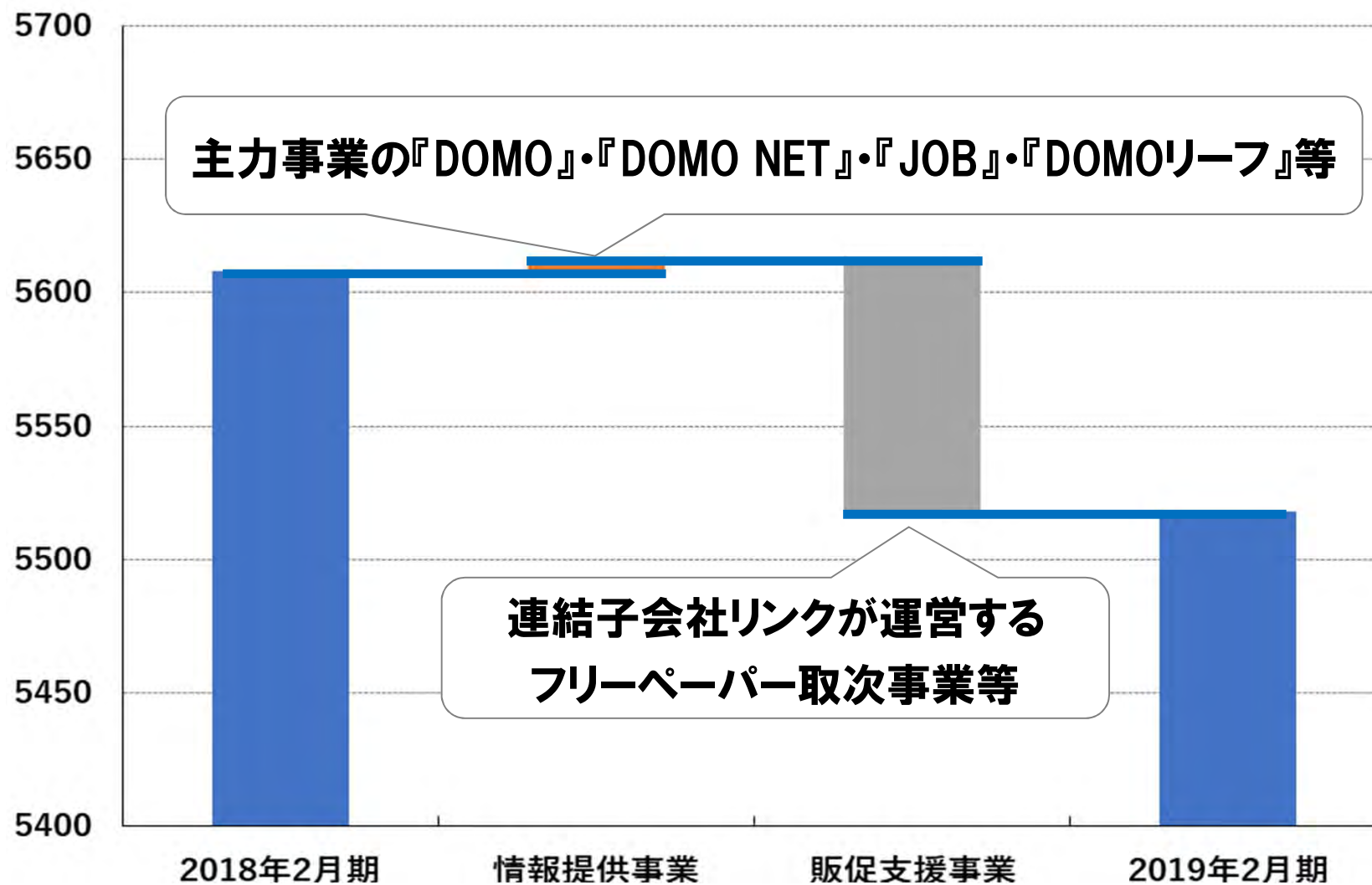
連結業績の概要

2018年3月1日～2019年2月28日

通期の業績(PL)

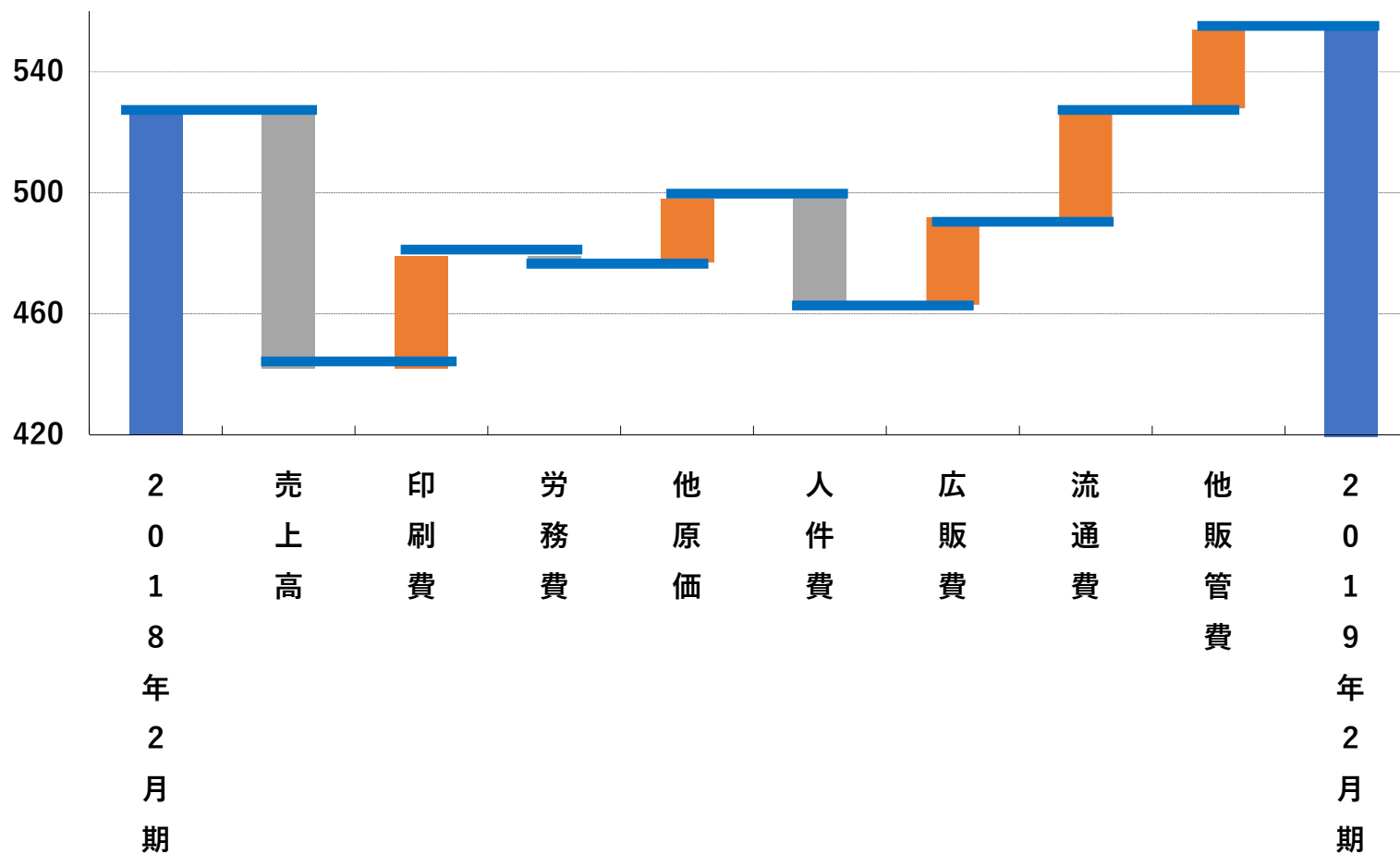
金額・増減額:百万円 構成比・増減率:%	2019年2月期		2018年2月期		前年同期比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	5,469	100.0	5,556	100.0	△87	△1.6
売上原価	1,678	30.7	1,735	31.2	△56	△3.3
印刷費	626	11.5	664	12.0	△37	△5.7
労務費	201	3.7	198	3.6	2	1.4
その他売上原価	849	15.5	871	15.7	△21	△2.5
売上総利益	3,791	69.3	3,821	68.8	△30	△0.8
販管費	3,236	59.2	3,293	59.3	△57	△1.7
人件費	1,636	29.9	1,601	28.8	35	2.2
広告・販促費	623	11.4	653	11.8	△29	△4.5
流通費	398	7.3	435	7.8	△36	△8.5
その他販管費	577	10.6	603	10.9	△26	△4.3
営業利益	554	10.1	527	9.5	26	5.1
経常利益	564	10.3	543	9.8	21	3.9
税金等調整前	532	9.7	529	9.5	3	0.6
親会社株主に帰属する 当期純利益	366	6.7	377	6.8	△10	△2.8
EPS	¥13.88		¥14.21			

セグメント別売上高(内部取引消去前)



営業利益の増減要因

費用最適化により営業利益の増益を確保



当期末の業績(BS)

金額・増減額:百万円 構成比・増減率:%		2019年2月末		2018年2月末		前期末比	
		金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
	流動資産	5,059	85.9	4,722	84.7	337	7.1
	固定資産	830	14.1	854	15.3	△23	△2.8
	資産合計	5,889	100.0	5,576	100.0	313	5.6
	流動負債	869	14.8	731	13.1	137	18.8
	固定負債	—	—	—	—	—	—
	負債合計	869	14.8	731	13.1	137	18.8
	資本金	455	7.7	455	8.2	—	—
	資本剰余金	540	9.2	540	9.7	—	—
	利益剰余金	5,095	86.5	4,913	88.1	181	3.7
	自己株式	△1,076	△18.3	△1,076	△19.3	△0	—
	株主資本	5,015	85.2	4,833	86.7	181	3.8
	その他包括利益累計額	4	0.1	9	0.2	△4	△53.1
	非支配株主持分	0	0.0	1	0.0	△1	△71.8
	純資産	5,020	85.2	4,844	86.9	175	3.6
	負債・純資産合計	5,889	100.0	5,576	100.0	313	5.6
	BPS	¥190.19		¥183.49			

当期累計の業績(CF)

金額・増減額:百万円	2019年2月期	2018年2月期	前年同期比
	金額	金額	増減額
営業活動CF	602	528	74
投資活動CF	△55	△15	△39
財務活動CF	△184	△352	167
換算差額	△1	△1	0
増減額	361	159	201
期首残高	4,009	3,849	
期末残高	4,371	4,009	

➤ 営業活動によるキャッシュ・フロー

- ◆ 主に、税金等調整前当期純利益が532百万円、売上債権の減少額が53百万円、減価償却費が40百万円等となった一方で、法人税等の支払額が121百万円等となったためです。

➤ 投資活動によるキャッシュ・フロー

- ◆ 主に、無形固定資産の取得による支出が39百万円、有形固定資産の取得による支出が15百万円等となったためです。

➤ 財務活動によるキャッシュ・フロー

- ◆ 配当金の支払額が184百万円等となったためです。

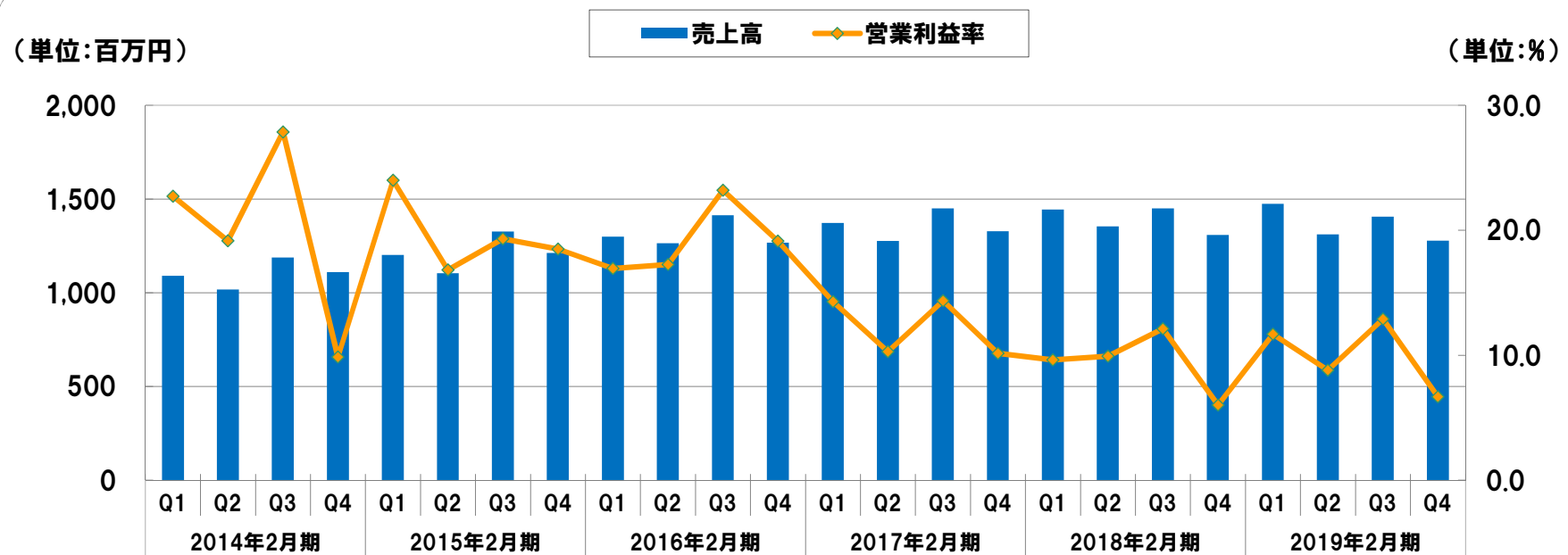
新しいシゴト, 新しいジブン

DOMO!
DOMO!_{time}
DOMO!_{job}
JOB

当期の総括

2018年3月1日～2019年2月28日

経営環境と業績推移



➤ 取り巻く環境と経営のあゆみ

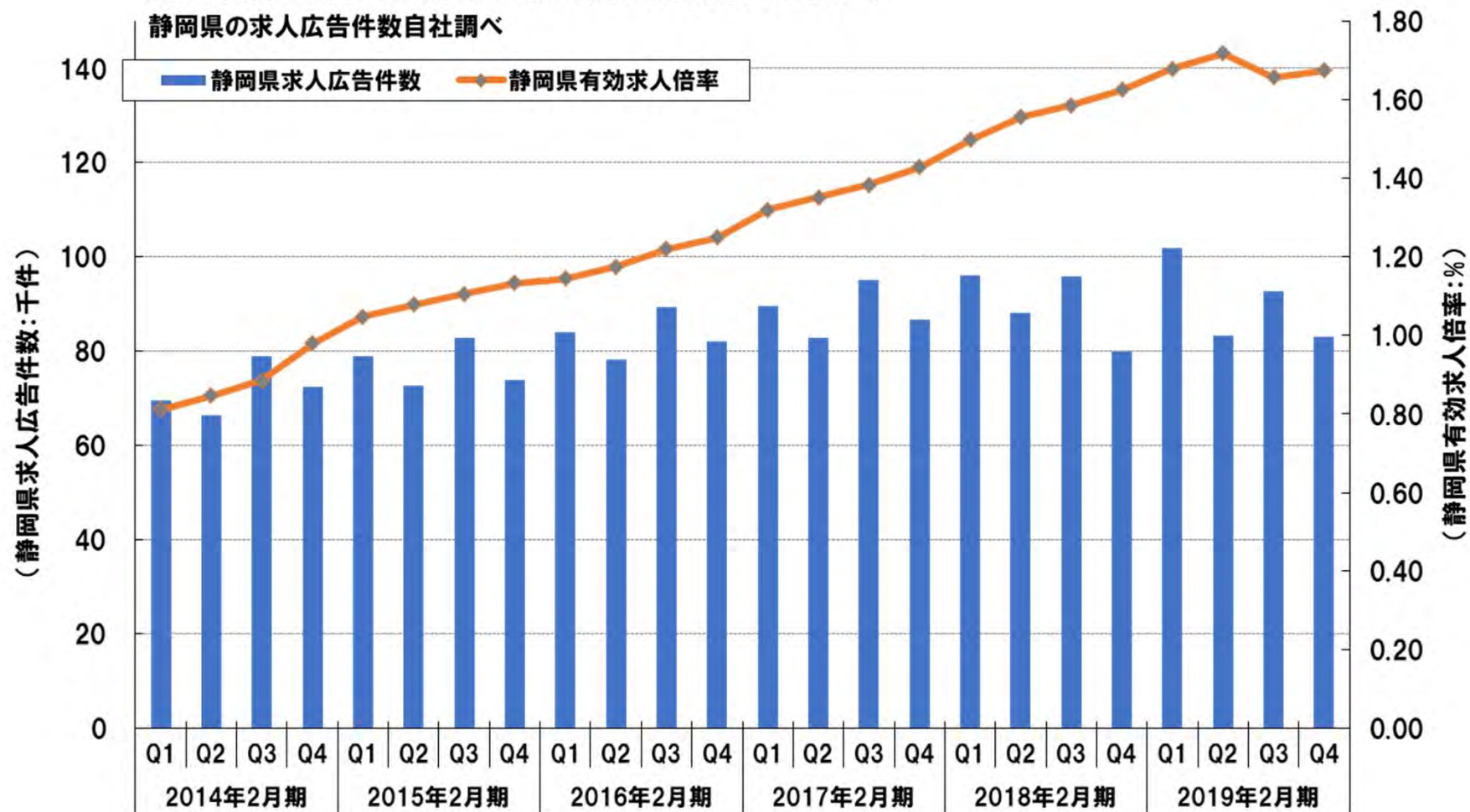
- ◆ 平成21年2月期中に発生したリーマン・ショックにより大幅に業績が悪化、平成22年2月期に合理化策による収益構造の改善を実施し、平成23年2月期に黒字転換、国内景気回復の中で基盤事業のサービス強化および収益の安定化を推進し、安定的な利益を計上。当期は前期に投入した新エリア・新商品の育成のための費用増により営業利益率低下。
- ◆ 構造的な少子高齢化や働き方改革において、企業の採用ニーズの高まりや就業形態やスタイルが多様化している中で、地域に根差した人材マッチングの強みと展開エリアの拡大、グループの新たな柱となる事業への投資を継続しつつコストの最適化を図る。

事業環境

静岡県の求人広告件数および有効求人場率の推移
(求人紙媒体のみ)

出所:有効求人倍率 静岡労働局「職業安定業務月報」より当社作成

静岡県の求人広告件数自社調べ



総括

人材サービスにおける競争力強化の推進

- **地域・企業規模・業種・就業者属性に応じた差別化サービスの販売強化**
 - ・前期に投入した顧客専用の採用管理システムを提供するサービスの強化
 - ・属性・業種に特化したイベントの開催やチラシ特別版の発行継続
「工場のお仕事紹介フェア」・「シゴトフェア Woman」・「DOMOリーフ特別版」
「DOMO特別シニア版・女性版」
- **正社員市場におけるサービス拡大と販売強化**
 - ・ネットメディア・人材紹介・リアルイベントの連動によるマッチング強化

重点エリアの販売強化と生産性の向上による利益拡大

- **重点エリアである中京地域の販売強化による投資回収**
 - ・FP・チラシ・ネットの3点をセットにしたパック販売の強化及び生産性の改善
- **不採算事業の撤退による経営資源の有効活用**
 - ・収益計画の乖離が顕著になったペット関連事業の撤退による経営資源の再配分

新しいシゴト, 新しいジブン

DOMO!
DOMO!_{time}
DOMO!_{job}
JOB

次期の方針、連結業績予想

2019年3月1日～2020年2月29日

重点施策

求人サービスの選択強化と収益構造の見直し

- 個別多様な入職ルートに向けたサービス提供とコストバランスの最適化
- 人材紹介事業への投資による収入拡大及び成長サービスとしての育成

合併会社設立による愛知エリアの収益の最大化

- 新聞折込求人広告地域シェアN01の三光アド社と合併会社設立による競争環境の是正・コストコントロールによる収益の最大化
- 販売代理店を駆使した3点パック(FP・WEB・チラシ)と販売エリアの拡大・強化

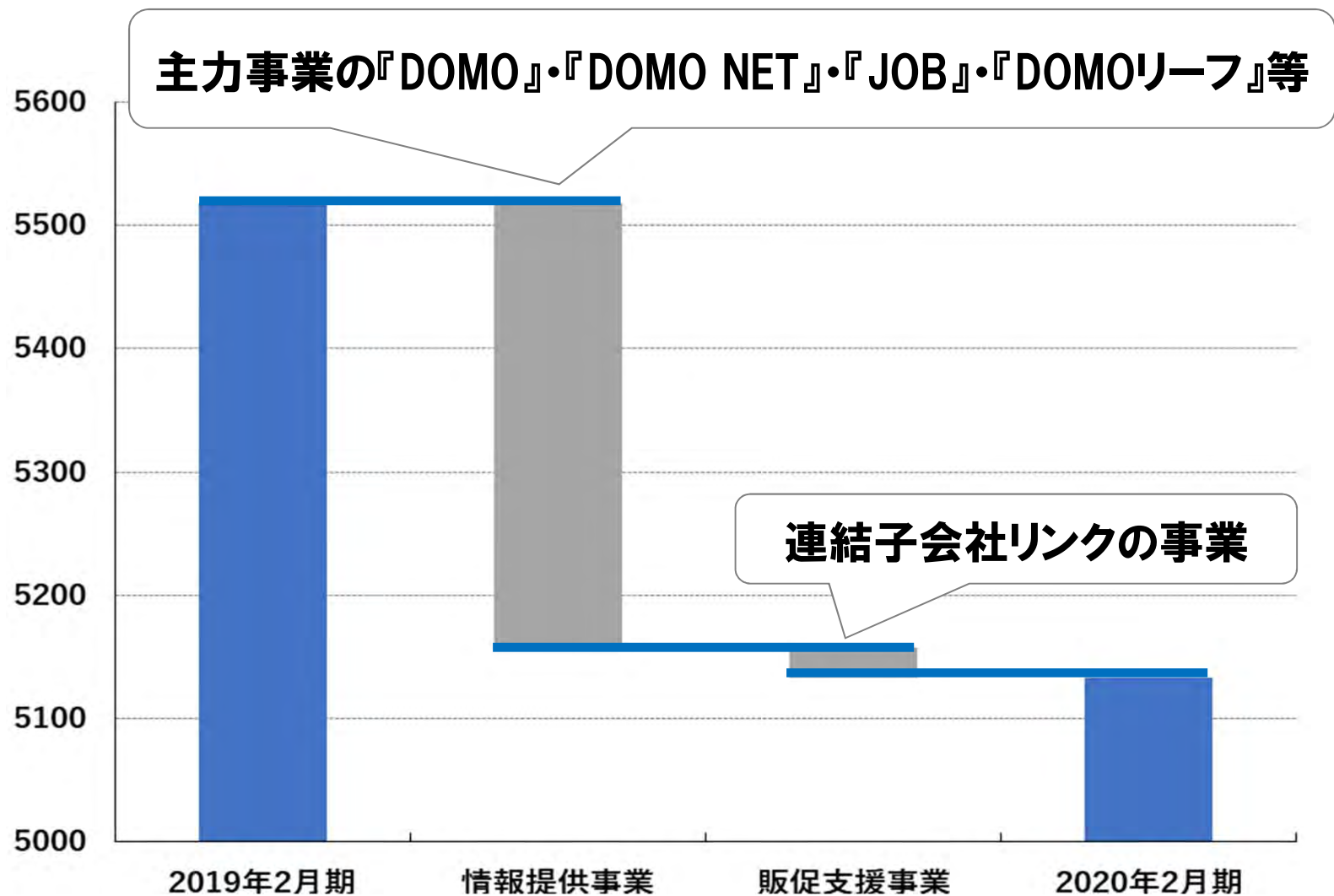
顧客ニーズに応える新たなサービスの提供

- ターゲット顧客や地域における顧客ニーズに向けた新たなマッチングサービスの提供
- アライアンスや協業による自社リソースとのアレンジによるサービスの創出

業績予想

金額・増減額:百万円 構成比・増減率:%	2020年2月期		2019年2月期		前年同期比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	5,090	100.0	5,469	100.0	△379	△6.9
売上原価	1,568	30.8	1,678	30.7	△110	△6.6
印刷費	548	10.8	626	11.5	△78	△12.5
労務費	198	3.9	201	3.7	△2	△1.4
その他売上原価	821	16.1	849	15.5	△28	△3.4
売上総利益	3,522	69.2	3,791	69.3	△268	△7.1
販管費	3,037	59.7	3,236	59.2	△198	△6.1
人件費	1,594	31.3	1,636	29.9	△41	△2.5
広告・販促費	652	12.8	623	11.4	29	4.7
流通費	207	4.1	398	7.3	△191	△48.0
その他販管費	582	11.4	577	10.6	5	0.9
営業利益	484	9.5	554	10.1	△70	△12.6
経常利益	483	9.5	564	10.3	△81	△14.5
税金等調整前	483	9.5	532	9.7	△49	△9.3
親会社株主に帰属する 当期純利益	340	6.7	366	6.7	△26	△7.2
EPS	¥12.89		¥13.88			

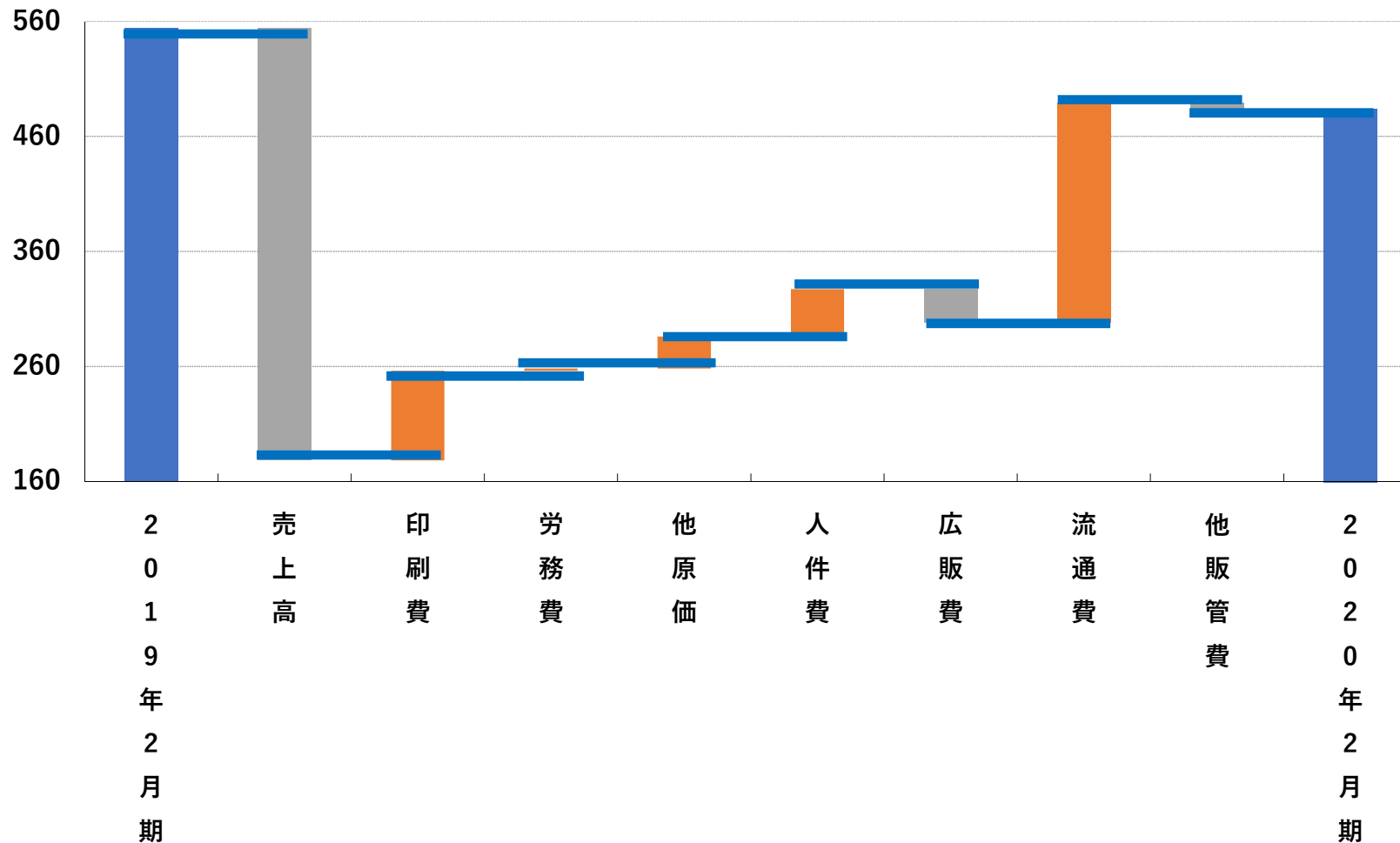
セグメント別売上高(内部取引消去前)



売上から営業利益までの内訳

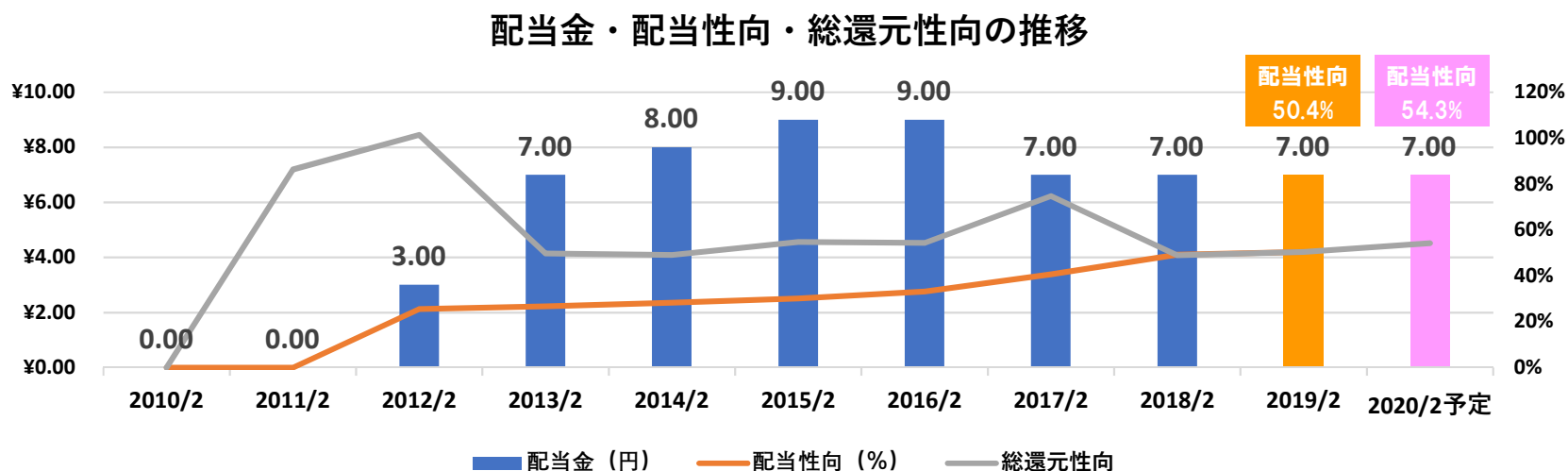
紙媒体の減収に伴う費用圧縮及び経営資源の再配分

(単位:百万円)



株主還元

連結当期純利益の50%を目処



当社グループは、中長期的な企業の競争力の強化と成長力の維持を可能とする投資を最優先事項と捉えています。そのため、内部留保金並びにフリー・キャッシュ・フローにつきましては、新規事業向けを中心とした投資に充当し、グループとしてのさらなる成長を図ります。

一方で、株主の皆様に対してはその投資によって得られた成果、つまり連結業績に連動した利益配分を行っていくこととし、具体的には**連結配当性向50%**を目処に配当を行う方針です。

当期の配当につきましては、1株当たり7円の期末配当を予定しております。次期の配当につきましては、1株当たり7円の期末配当を予定しております。

免責事項

本資料に掲載されている、アルバイトタイムスグループ(株式会社アルバイトタイムス及びその子会社・関連会社;以下「当社グループ」)の予想数値あるいは将来に関する記述の部分は、本資料作成時において入手可能な情報から得られた当社グループの経営陣の判断に基づいています。

しかし、業績予想の数値は実際の業績と異なるリスクを内包していることにご注意ください。当社グループは、常に最新の情報提供に努めますが、実際の業績は、業績予想以後に実際に生じる市場動向、経済情勢、消費動向、社内事情等の影響を受ける等の事情により、当社グループの経営陣が予想した数値と大きく異なることもあり得ます。

連絡先

株式会社アルバイトタイムス 管理部広報IR課

TEL:03-3254-2501

FAX:03-3254-2444

E-MAIL:ir@atimes.co.jp

住所:101-0043

千代田区神田富山町5-1 神田ビジネスキューブ8F

HP:http://www.atimes.co.jp